高鍋、木城 25.6.14 朝日

アユ元気に育て

小丸川漁協が放流

川に稚アユを放流する小丸川漁業協同組合職員ら

川釣りを通して小丸川に親しんでもらおうと、小丸川漁業協同組合（前田和則代表理事）は11日、高鍋町・小丸大橋と木城町・高城橋の下で稚アユ5220匹を放流した。

放流は同組合が毎年行っており、稚アユは延岡市の宮日養魚場が養殖したもの。同日のほか、4月には木城町切原川などでも計4522匹を放流した。

小丸大橋下での放流には同組合員ら約10人が集まった。トラックに積んだ水槽にホースをつないで稚アユを川に放流。体長10センチ程の稚アユは勢いよく飛び出し、群れになって川を泳いだ。

同組合は5月、河川の生態系を向上させようと、小丸川の清掃を実施。モップを使って石にこびりついた藻や泥を取り除いた。その際、生き生きやビニール袋など、明らかに人が捨てたとみられるごみが多数あったという。前田代表理事（61）は「小丸川は皆の財産。川のレジャーを楽しむためにも、心無い行為はやめてほしい」と話していた。